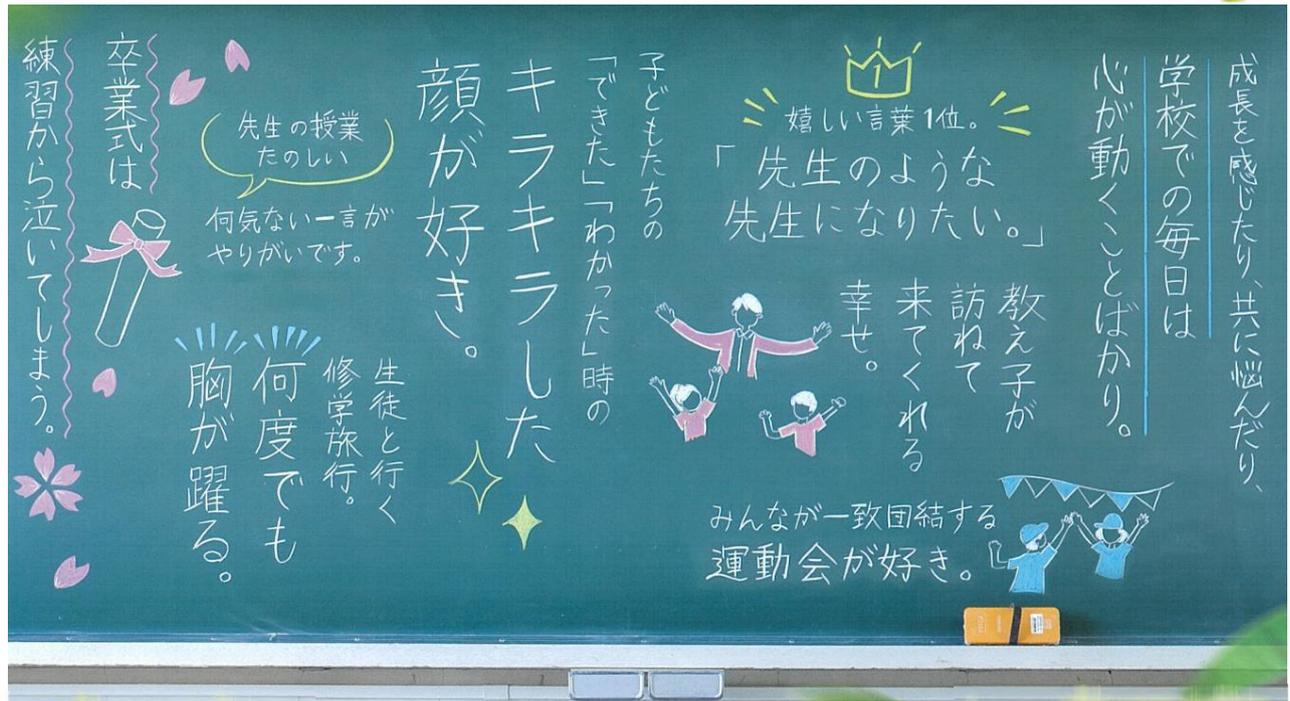


千葉の先生になって あなたらしい葉をひらこう。



先生だって間違ふこともあるし、失敗する。

弱い部分もあるし、苦手なこともある。

自分をありのままに表現することは大切なこと。

千の葉は多様性の葉。

それぞれが自分らしく活躍できるように、

働き方を含めて教育現場を改善していきます。



教員採用情報サイト「千の葉の先生になる」→「ホームルーム」に登録



chiba-sensei.com

「ホームルーム」に登録していただいた方に、教員採用選考、イベント、講師登録会や相談会などの情報を継続的に発信します。興味のある方は、ぜひ登録してください。また周りに教員を目指している方がいましたら、ぜひご紹介ください。

※PR 動画やパンフレット等、現場で活躍する教員の姿を御覧ください。

【お問い合わせ先】

教育振興部教職員課任用班
電話 043 (223) 4043

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
千葉の先生になって あなたらしい葉をひらこう。	1
インデックス&ミニ・トピックス・教育長コラム	2
令和6年度第8回千葉県教育委員会会議 (定例会)の内容について	3
千葉県高等学校工業教育研究会 令和6年度第40回総合技術コンクール	4
千葉県中学生・高校生留学フェアを開催	5
令和6年度 千葉県学校体育優良校・功労者顕彰	6
課題探究型キャリア教育ゼミの紹介	7
「土器ッと古代“宅配便”」のご紹介	8
県内学級担任紹介(松戸市立ハケ崎小学校)	9
イベント情報(生涯学習課・文化振興課・競技スポーツ振興課) 国や県からの情報	別冊

『創立50周年記念式典及び記念講演会』
を開催しました！
(11月26日：県立市原緑高等学校)

県立市原緑高等学校では、「地域の活動に積極的に参加し、協働できる資質」を育むことをスクールポリシーとして掲げ、学校外の人々と協働する機会を設定しています。

同校は今年度創立50周年を迎え、11月26日(火)に『創立50周年記念式典及び記念講演会』を実施しました。学校の歩みを振り返り、創立の意義を確認し、明日への発展を願う貴重な機会となりました。

記念講演会では、元女子マラソン選手の増田明美氏をお招きし、「自分という人生の長距離ランナー」という演題で、御講演いただきました。生徒達からは「失敗を恐れず様々なことへ挑戦することの大切さを学びました。」などの感想が聞かれました。



生徒の前で講演を行う増田明美氏



各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～



県立高校で、初任から経験4年ほどの先生方や、教科主任など学校の中心となる先生方と意見交換する機会を作っていただきました。部活動の顧問や様々な校務分掌が負担となっていること、学び直しの授業にやりがいを感じるが本来目指していた学習ではないこと、校内の人間関係の悩みなど、先生方の率直な意見を聴くことができました。校務等の負担については、教育委員会としても各種事務のデジタル化や簡素化等を進めていますが、学校の管理職の先生方にも、一層の配慮をお願いしたいと思います。ある初任の先生が「高校時代に素晴らしい教師に会い、高校教員を志した。」と話してくれた時の目の輝きが心に残っています。慣習や前例踏襲を見直し、教職員一人一人が生き生きと働ける職場づくりを進めることは、未来の先生を育てることにもつながります。

令和6年度第8回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日 令和6年11月13日（水） 議案及び報告は以下のとおりです。

◀ 審議事項 ▶

（議案）

第33号議案 懲戒処分指針の一部改正について

第34号議案 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の原案について

第35号議案 特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の原案について

（報告議案）

第4号報告 教育委員会所管に係る令和6年度12月補正予算案について

（報告）

報告 1 令和5年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果の概要について



[問い合わせ先：043-223-4004 企画管理部教育総務課]

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/iinkai/kekka/r6/061113-2.html>（第8回結果）

第8回教育委員会会議の結果は、左の二次元コードからご覧いただけます

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 教育委員の活動（11月） ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

委員視察

令和6年11月6日
（水）、県立千葉女子高等学校を永沢委員、櫻井委員が視察しました。



県立千葉女子高等学校の視察の様子

令和6年11月19日
（火）、県立市川工業高等学校を貞廣委員、永沢委員が視察しました。



県立市川工業高等学校の視察の様子

令和6年11月21日
（木）、県立特別支援学校市川大野高等学園を永沢委員、花岡委員が視察しました。



県立特別支援学校市川大野高等学園の視察の様子

令和6年11月27日
（水）、山武市立松尾小学校と東金市立西中学校を貞廣委員、永沢委員、櫻井委員が視察しました。



山武市立松尾小学校の視察の様子

令和6年11月30日に、県立市川工業高等学校を会場として開催された「総合技術コンクール」において、県内の工業系高等学校の代表生徒が専門の技術を競い合いました。

部門・競技内容

【溶接部門】

ガス溶接、アーク溶接により、鉄板を溶接します。



【機械設計製図部門】

機械部品について、正確な図面を作図します。



【電気工事部門】

コンセント等の器具の屋内配線工事を行います。



【電子回路工作部門】

LEDを点滅させる電子回路工作を行います。



【化学分析部門】

試料水中のカルシウム硬度・マグネシウム硬度を測定します。



【測量部門】

距離測定等を行い、得られた数値から計算書を作成します。



【建築設計製図部門】

戸建住宅を設計し、プレゼンテーションを行います。



【計算技術部門】

工業技術に関する専門的な計算を行います。



【ロボットコンテスト部門】

製作したロボットが独自の力で風船を割ります。



【ライトレースカー部門】

製作した車体が白線を自動判別して走ります。



結果・表彰



優秀賞、優良賞、敢闘賞の表彰もありました。
おめでとう!!!

【溶接部門】 ※ ()は出身中学校

知事賞：市川工業高校 埴 隼斗 (船橋・高根台中)
教育長賞：市川工業高校

【機械設計製図部門】

知事賞：市川工業高校 高橋 吟弥 (浦安・堀江中)
教育長賞：市川工業高校

【電気工事部門】

知事賞：清水高校 中川 隼 (野田・第二中)
教育長賞：清水高校

【電子回路工作部門】

知事賞：市川工業高校 小川 遼人 (白井・七次台中)
教育長賞：清水高校

【化学分析部門】

知事賞：茂原樟陽高校 久保 貴暖 (千葉・土気中)
教育長賞：茂原樟陽高校

【測量部門】

知事賞：京葉工業高校 藤井 健伍 (袖ヶ浦・平川中)
教育長賞：京葉工業高校

【建築設計製図部門】

知事賞：市川工業高校 湯浅 翔永 (印旛・印旛中)
教育長賞：市川工業高校

【計算技術部門】

知事賞：茂原樟陽高校 後藤 亜久斗 (茂原・茂原中)
教育長賞：茂原樟陽高校

【ロボットコンテスト部門】

知事賞：京葉工業高校 唐鎌 綾真 (千葉・幕張西中)
教育長賞：東総工業高校

【ライトレースカー部門】

知事賞：京葉工業高校 金光 悠斗 (習志野・第一中)
教育長賞：下総高校

お問い合わせ先：千葉県教育庁教育振興部学習指導課 電話043-223-4060

令和6年度

千葉県中学生・高校生留学フェアを開催

県教育委員会では令和6年11月30日（土）、留学や海外の大学や専門学校への進学など広く海外で学ぶことに興味を持つ生徒や保護者等を対象に「令和6年度千葉県中学生・高校生留学フェア」を開催し、約200名の方々に参加いただきました。

当日は、文部科学省の官民協働海外留学創出プロジェクト「トビタテ！留学 JAPAN」の新・日本代表プログラム（留学支援事業）について、職員による基調講演のほか、実際に奨学金を活用して留学した3名の高校生による留学体験談、留学を推進・支援する団体による説明会や個別相談会を実施しました。



基調講演

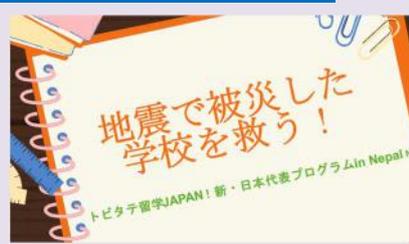
世界はきっと想像以上。

～トビタテ！留学 JAPAN と新・日本代表プログラム～



文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト担当の中山智雄氏による基調講演の様子

留学経験者による体験談及び個別相談



新・日本代表プログラムを活用して留学した高校生による留学体験談及び個別相談の様子

留学・海外進学説明会及び個別相談



留学を推進・支援する団体による説明会及び個別相談の様子

(一財)海外留学推進協会・(公財)YFU日本国際交流財団・(公財)AFS日本協会・マレーシア政府観光局にご参加いただきました。)

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課（電話043-223-4177）

令和6年度千葉県学校体育優良校・功労者顕彰

学校体育の発展・振興に貢献された優良校6校、功労者27名が受賞されました。

＜学校体育優良校＞ 小学校 3校 中学校 3校 合計 6校

No.	教育事務所等	学 校 名
1	葛 南	船橋市立行田中学校
2	北 総	成田市立成田中学校
3	北 総	香取市立北佐原小学校
4	東 上 総	横芝光町立光小学校
5	東 上 総	山武市立山武望洋中学校
6	千 葉 市	千葉市立小中台小学校

令和6年11月8日(金)
千葉県学校体育研究大会
【印西市 印西市文化ホール】

受賞された皆様 おめでとうございます。

＜学校体育功労者＞ (敬称略) 小学校 8名 中学校 18名 高等学校 1名 合計 27名

No.	教育事務所等	氏 名	職	学 校 名
1	葛 南	高橋 和宏	校長	船橋市立行田中学校
2	葛 南	猪又 雅広	校長	市川市立福栄中学校
3	葛 南	蓮 一臣	校長	習志野市立第二中学校
4	葛 南	設楽 憲一	校長	八千代市立高津中学校
5	葛 南	山田 裕弘	校長	浦安市立浦安中学校
6	東 葛 飾	高梨 有二	校長	松戸市立第四中学校
7	東 葛 飾	山田 仁	校長	柏市立西原中学校
8	東 葛 飾	山口 謙	校長	流山市立長崎小学校
9	東 葛 飾	小田川 精宏	主幹教諭	鎌ヶ谷市立北部小学校
10	東 葛 飾	関根 延年	校長	鎌ヶ谷市立第二中学校
11	北 総	中村 太一郎	校長	酒々井町立酒々井中学校
12	北 総	山田 真史	校長	佐倉市立井野中学校
13	北 総	有田 英夫	校長	神崎町立神崎中学校
14	北 総	大目 智志	校長	旭市立海上中学校
15	東 上 総	田代 純一	校長	九十九里町立片貝小学校
16	東 上 総	富永 裕之	校長	長生村立一松小学校
17	東 上 総	元吉 厚子	校長	いすみ市立太東小学校
18	東 上 総	浅尾 公司	校長	いすみ市立大原中学校
19	南 房 総	稲富 光有	校長	市原市立有秋南小学校
20	南 房 総	藤田 嘉治	校長	市原市立双葉中学校
21	南 房 総	高鍋 元博	校長	富津市立大佐和中学校
22	南 房 総	伊藤 恭子	教諭	木更津市立富来田中学校
23	千 葉 市	石井 幸江	校長	千葉市立都賀中学校
24	千 葉 市	石川 徹	校長	千葉市立花見川中学校
25	千 葉 市	大矢 郁乃	校長	千葉市立登戸小学校
26	千 葉 市	安井 忍	校長	千葉市立蘇我小学校
27	高 等 学 校	大岡 正和	校長	千葉県立京葉工業高等学校

【お問い合わせ先：教育振興部保健体育課 学校体育班 TEL043(223)4108】

課題探究型キャリア教育ゼミの紹介

県教育委員会では、キャリア教育の一層の推進を図ることを目的として、高校生を対象とした「課題探究型キャリア教育ゼミ」を実施しています。指定を受けた推進校の生徒たちは、専門学科等の特色を生かして、地域や社会の課題解決に取り組む探究的な活動を行います。これらの成果を広く県内に普及することにより、県全体として、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく子供たちの育成を目指します。

○拠点校：大原高等学校

連携校：一宮商業高等学校 大多喜高等学校



高校生が考える新たな観光プランの提案

いすみ市、大多喜町、一宮町を含む外房地区は、少子高齢化・人口減少という共通の課題を抱えています。この課題解決に、高校生ならではの発想力を生かした観光プランや地元食材を使った新商品の開発をすることで、将来的な若年層人口の増加を目指します。

○拠点校：千葉工業高等学校

連携校：生浜高等学校 泉高等学校



園児・児童・生徒に対するロボット操縦体験およびロボットプログラム体験

園児・児童・生徒の関心が高い「ロボット」を製作し、地域の幼稚園・小学校・中学校等に赴き、ロボットのプログラミングや操作方法などを園児、児童や生徒に体験してもらう出前授業を行っています。

○拠点校：銚子商業高等学校

連携校：銚子高等学校 旭農業高等学校



地域防災の観点から災害に備える

能登半島地震をはじめ、千葉県内でもスロースリップが原因と考えられる群発地震や、異常気象による風雨災害などが発生しています。

地域防災のために防災学習を行ったり、地元産食材を利用した防災食を開発したりして、地域とともに防災意識を高めています。

課題探究型キャリア教育ゼミ協議会開催！（令和6年5月27日）



推進校の生徒たちが一堂に会し、課題探究の進め方について理解を深め、今後の活動についての協議を行いました。

外部講師として東日本電信電話株式会社の皆様に御助言をいただきました。

お問い合わせ先：千葉県教育庁 教育振興部 学習指導課
電話 043(223)4060

ど き こ だ い た く は い び ん
土器ッと古代“宅配便”のご紹介

～ VOL.3 勾玉づくり編～

文化財課では、歴史や図画工作の授業をサポートするための出前授業「土器ッと古代“宅配便”」（通称「土器宅^{どきたく}」）を行っています。今回は、体験の人気メニューである「勾玉づくり」をご紹介します。この体験は、約2時間（授業2コマ）の体験で、「専門スタッフによる説明（約10分）」と、「勾玉づくり（約60分）」がセットになったものです。

体験時に学校で用意するものは、①水をいれた500MLのペットボトルと、②雑巾の2つだけ！
勾玉の材料や磨くための砥石等は、すべて用意しております。

（ただし材料代として、1人につき300円（1セット分）がかかります）

勾玉の作り方は、「YouTube」でも紹介していますので、内容確認や事前学習も可能です。なお、説明が不要であれば、道具のみの貸出も行っています。

歴史を学びながら、「世界にひとつだけ、自分だけの勾玉」を作ってみませんか。

活用のご相談をお待ちしています。

次回は、大人気の「火おこし体験」についてご紹介します。お楽しみに！

お問い合わせ先：教育振興部文化財課（四街道分室）

電話 043-424-4849

土器宅チラシ

二次元コード



YouTubeで公開中の「勾玉づくり解説動画」

二次元コード



勾玉づくりの様子①



勾玉づくりの様子②



完成した勾玉

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名：松戸市立八ヶ崎小学校



担任名：菅原 風之介
教員経験：8年

(令和6年5月1日現在)

【力の伸びが実感できる授業】

体育科の授業で大切にしているのが、児童が力の伸びを実感できるようにすることです。体育科の学習は、「できた」「できない」がはっきりしてしまいます。「できた」は素晴らしいことですし、追い求めていきたいですが、それまでの過程も大切だと思います。それが「わかった」です。「逆上がりはできなかったけど、コツは分かったぞ!」「自分はできなかったけど、友達の動きを見て分かったことを伝えられたぞ!」このような姿が見られる授業を日々目指しています。そのためには、児童同士の見合い・伝え合いがとても大切です。体育科に限らず、協働的に学習することができる場面を多く創出し、「できた」と「わかった」があふれる授業づくりをこれからもしていきます。

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

「子ども達が安心して活動できる環境を整えること」です。子ども達の自主的、創造的な活動のためには、安全で安心な環境作りが必要不可欠だと考えています。

授業で心掛けていること

体育科の授業で心掛けていることの一つは、学級の全員に声をかけるということです。とにかく褒めまくります。その中でも、思考を促すような発問も大切にしています。

私の好きな「言葉」

「教師は百を知って、一を教える」

八ヶ崎小に着任し、初めての研究授業を終えたときに、先輩に頂いた言葉です。



この件についてのお問い合わせ
企画管理部 教育政策課
電話043-223-4015